

kigokoro

EIDAI Corporate PR Magazine Autumn 2025 / vol.25

kigokoro

Autumn 2025 / vol.25



ライトモルタル柄



日本の木になる風景

東京都 渋谷区
明治神宮 鎮守の森



最新納入事例
青森県むつ市 ぽこ・あ・ぽこ様物件

「デコルシェ」「セーフケアプラス」
「スキスムSフロア」ほか



新製品紹介

MATERIAL SELECTION
マテリアルセレクション

「マテリアルセレクション」



永大産業株式会社 東京西営業所



開発者の声



BEECH EUROPE
CRYSTAL

永大ヒストリー



EIDAI Headline News

EIDAI Virtual Showroom

Web上でショールーム見学を体験！製品紹介動画などもご覧いただけます。



全国どこからでもショールームを体感できる
「EIDAIバーチャルショールーム」を更新



木の力を活かす

高槻市
市民生活環境部 文化スポーツ振興課

第25号 令和7年10月1日発行
編集・発行：永大産業株式会社 事業管理部 広報課
〒559-8658 大阪府住之江区平林南2-10-60 TEL:06-6684-3058 FAX:06-6684-3051



comCarbo
コンカーボ
DIRECT
ダイレクト

約300mm幅のワイドサイズ 床暖房対応の直貼り遮音フローリング

幅広サイズでモチーフとなる素材の表情を余すところなく表現しました。
新築マンション、リフォーム、リノベーションに最適です。
また、トレンド感ある異素材ミックスコーディネートが可能です。



ダークスレート柄



ピアンコマーブル柄



セラミック柄



モルタル柄



木を活かし、よりよい暮らしを

永大産業株式会社
www.eidai.com

お客様相談センター

☎ 0120-685-110 [受付時間] 平日9:00~17:00(休業日:土曜日・日曜日・祝日・夏期休暇・年末年始)

EIDAI ショールームでお確かめください。

EIDAI SR

検索





MATERIAL SELECTION
マテリアルセレクション

『マテリアルミックス』が進化した新ブランド マテリアルセレクション



詳細はこちら

『マテリアルミックス』が進化した新ブランド
2019年8月に発売した『マテリアルミックス』をリブランディングし、2025年6月に発売した『マテリアルセレクション』。素材感がより強調されるシンプルデザインと、トレンドに対応しながらも永く愛せるカラーラインナップが魅力です。



石目調ベージュ柄



石目調グレー柄



石目調ミドルグレー柄

素材感を際立たせて変化をつける、
トレンドのインテリアスタイルに対応

当社が『マテリアルミックス』を発売した2019年当時のインテリアでは、異なる質感や材質をアクセントとして加えることで、ベースとのコントラストを活かすコーディネートが主流でした。たとえば木の質感を基本としながら、メタルの光沢やレザーの風合いを一部に取り入れるようなスタイルです。しかし近年、モノトーンやニュートラルカラーの同系色でまとめたシンプルなインテリア空間に、素材感で変化をつける『クワイエットラグジュアリースタイル』が好まれるようになりました。ブランド名には『好きな素材(マテリアル)を選んで(セレクション)、自分だけの空間を創れる』という意味を込めています。

大きな特長は色柄で、『マテリアルミックス』からレザー調・金属調・モルタル調のカラーを踏襲しつつ、新たに石目調のニュートラルカラーを加えました。主張しすぎず、控えめながらも質感が漂う新柄です。製品としては室内ドア、クロゼット、シューズボックス、システム収納をラインナップ。華美な装飾を排したデザインと、落ち着いた色味でコーディネートすることにより、トレンドでありながら普遍的でタイムレスな魅力を湛えた『クワイエットラグジュアリースタイル』のインテリアを実現することができます。

開発者の声

目指す空間を明確にすることで
製品デザインの軸が見えてきた。

多様化するインテリアの中で、目指したのは『クワイエットラグジュアリースタイル』。それによってベースカラーが決まり、無駄な装飾をなくす、素材感で上質さを演出するなどの方針が定まったと開発メンバーは語ります。



「この製品は設計部隊と生産部隊の、密なコミュニケーションの賜物です」と福島。

新ブランドの大きなポイントになっている色柄はどのようにして決めたのですか。

古川バンデミック以降、インテリア空間ではリラックスできるやさしいカラーや、定番的な色合いが求められています。そのため、ベースカラーはニュートラルカラーやモノトーンに。また、海外のインテリアでは石目調がトレンドで、カラーはグレーやベージュが人気であることから、新柄はいずれも石目調のベージュ、グレー、ミドルグレーとしました。

「クワイエットラグジュアリースタイル」な空間に合う色柄、という点ですね。

福島です。製品単体で考えるのではなく、「空間としてどうありたいか」を模索しました。今はSNSの普及が進み、一般の方でもいろんな空間写真を手軽に見られます。それによって、お客様は製品単体としてよりも空間全体としての見え方を重視するようになってきました。開発にあたっては、「クワイエットラグジュアリースタイル」の画像を膨大に集め、空間を構成する要素を徹底的に言語化していきました。古川石目には、トラバーチン、ライムストーン、マーブルの3種類をモチーフに採用しました。石の自然な美しさを最大限に引き出すため、何十枚もの試作品を作成し、吊るす、床に置くなど様々な方法で検証を重ね、デザインに取り入れるべき部分を見極めました。酸液シンブルなデザインながら、目地ラインは樹脂モール仕上げではなくシート巻き込み仕上げを採用するなど、ディテールの美しさにもこだわりました。

「マテリアルセレクション」に対して、お客様のどんな反応を期待されていますか。

福島今回は、どのような製品を求めるといってお客様へのヒアリング実施だけでなく、海外のインテリア動向にアンテナを張る当社の総合研究所とも情報共有して開発を進めました。トレンドを取り入れつつ、時代に左右されない普遍的なデザインに仕上がっているため、長く愛されるブランドへと育てていきたいと考えています。



モチーフとなっている材料にマッチした手ざわりまで付与することで、素材感をリアルに再現。



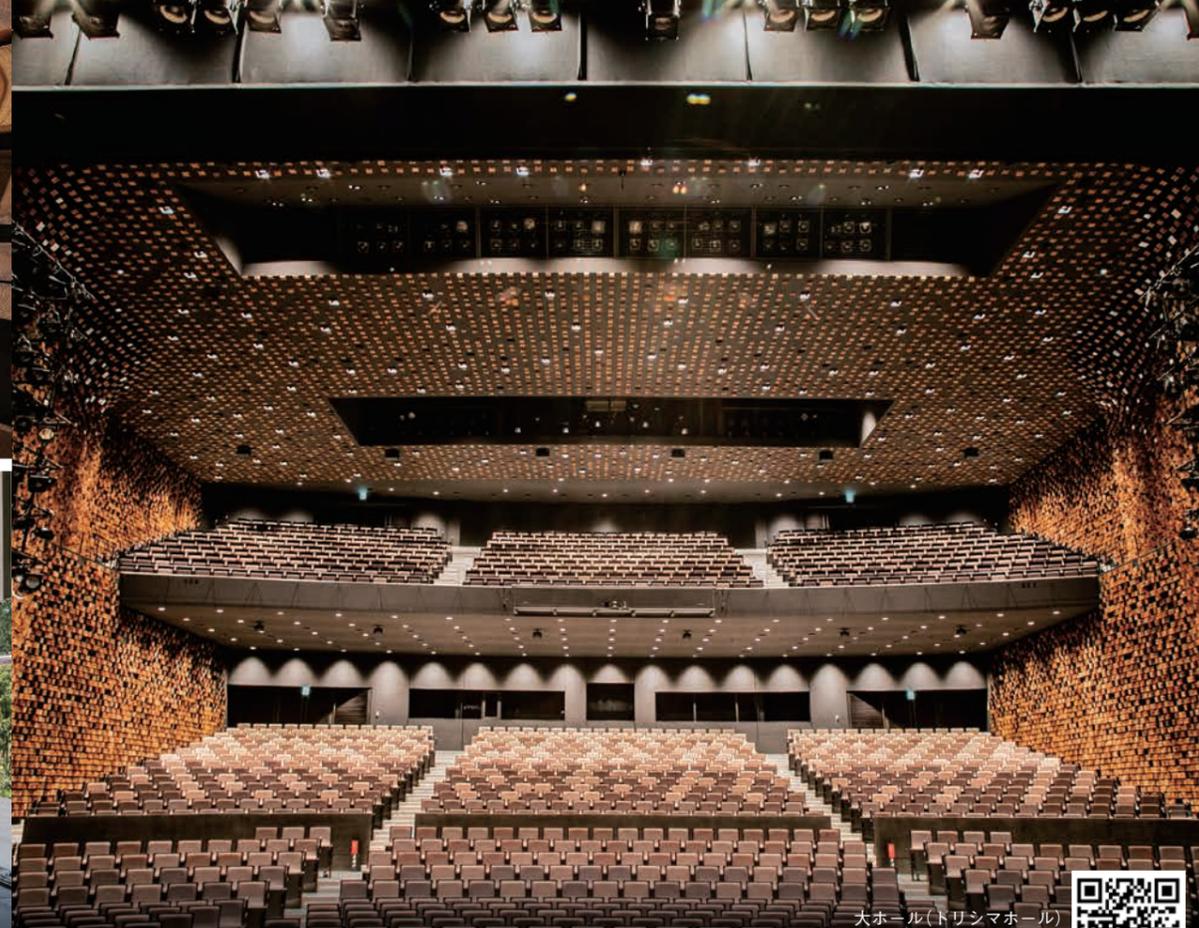
内装システム事業部 商品部 商品開発一課
(写真左から) 葭葉 司 課長 福島 康史 古川 伸一

木の力を活かす

木造建築の可能性

3

高槻城公園芸術文化劇場



大ホール(トリシマホール)



高槻城公園芸術文化劇場

高槻城公園芸術文化劇場 南館 【住所】高槻市野見町6番8号
【ホームページ】<https://www.takatsuki-bsj.jp/tat/>



全景



貼りつめられたキューブ



エントランス



城内を意識した中庭

近年、環境配慮への観点から、木造の建築物だけでなく、「内装木質化」を進めて温室効果ガスの削減に貢献する施設が増えています。今号では、市民の憩いの場ともいえる芸術劇場を、木材をふんだんに使って内装木質化を行い、日本建築学会賞を受賞された高槻城公園芸術文化劇場をご紹介します。

城下町に息づく新たな文化の拠点

高槻城公園芸術文化劇場は、2023年に高槻城跡に新たな文化施設として、大阪城、岸和田城と並び「大阪三大城下町」と称される高槻城二の丸跡に建てられました。

老朽化した市民会館の建て替えを機に、芸術性の高い催しに対応できる劇場へと生まれ変わりました。外構には堀や築地塀を配するとともに、建物の外観には城下町の町家の格子戸を連想させる木製ルーバーを設置し、城下町らしい雰囲気と周囲との調和を意識したデザインが特徴です。ホールも独自性を追求した設計で、オープン以来、市民から好評を得ています。コンサートや発表会はもちろん、クラシックコンサートや「高槻ジャズストリート」などの音楽イベントにも活用され、地域文化の中心的存在となっています。

「木の芸術作品」と呼ぶにふさわしい建物です。「音響にも徹底的にこだわって」というような点に苦労されましたか？

2016年に設計を開始し、2019年から建設に着手して以降、東京オリンピックの影響やコロナ禍など、竣工までに多くの困難を乗り越えました。また、大ホールのキューブ設置には特に苦労しました。キューブは乾燥による割れを防ぐために一つひとつ切り込みを入れるとともに、音響を考慮して微妙に大きさや設置の角度を変えています。取り付け時は、重低音による振動を防ぐため、細心の注意を払いました。高い音響効果を得るために音響専門企業と協力し、納得のいく結果が出るまで何度も測定と調整を重ねました。

木材活用と将棋文化を通じて高槻市のこれからの木材利用に関する考えをお聞かせください

高槻市では、建築物の整備や土木工事等の実施に当たっては、「高槻市木材基本方針」を策定しています。これからもこの方針に基づき、可能な限り木材を活用していく考えです。また、高槻城の遺構から将棋の駒が発掘されたことをきっかけに、将棋のまち高槻のPRにも力を入れています。関西将棋会館の移転先誘致にも力を入れ、2024年12月にJ.R高槻駅前新会館がオープンしました。2022年からは、「木育」の一環として、市内の小学1年生全員に地元産の間伐材などで作った将棋駒を毎年配布し、将来的に地元の木材に親しみを持つてもらえたらと考えています。

ではの豊かな木をまとった「芸術の杜」の創造を設計コンセプトに誕生しました。建物全体には徹底して木材が使用されており、大阪府産の杉材を約350立方メートル使用しています。これは小学校の25メートルプール1杯分より少し多い量に値します。中でも圧巻なのが、大ホール「トリシマホール」の壁面です。ここには、木材の芯の部分を活かしたキューブが約2万7千個も並べられ、まるで木の彫刻に包まれているかのような空間が広がっています。音響にも細やかな配慮がなされており、オーケストラの演奏者からも高い評価を受けています。

劇場に使用されている木製ルーバーは、木材の部位ごとの特性を考慮して内装用と外装用に使い分けられているほか、本来は使い道のない芯持ち材もキューブとして無駄なく活用しました。さらに、外装に使われている木製ルーバーにガラスを含ませる特殊な防汚処理を施し、耐久性の向上に努めています。伝統的な「木取り」の知恵と最新の防汚技術が融合したこの劇場は、まさに

「木の芸術作品」と呼ぶにふさわしい建物です。「音響にも徹底的にこだわって」というような点に苦労されましたか？

普段使いの劇場へ

以前の市民会館は多くの市民に親しまれ、広く利用されてきました。その建て替えにあたり、多くの方から温かい支持と寄付をいただき、高槻市民の文化への関心の高さを実感しています。

劇場の顔となる大ホールは1505席を備え、北摂地域でも最大級の規模です。市民の発表会からプロの公演まで幅広く対応でき、土日を中心に1年先まで予約が埋まるほどの人気です。さらに、小ホールや大小10のスタジオもあり、音楽・演劇・ダンス・会議など多様なニーズに応えています。これらの施設も、気軽に使える「普段使いの劇場」として親しまれることを願っています。

旧市民会館からバトンを受け継いだこの劇場が、今後も市民の皆さんに末永く愛されるよう、文化・芸術の様々な分野に挑戦していきたいと考えています。



高槻市 市民生活環境部 文化スポーツ振興課
(左) 藤巻 俊亮様 (右) 主査 多田 遼様



市民からの公募で決定したロゴ



ちょっと
一息の
木と
短歌



夜のくだち 小雨しづみて にほひ来る
金木犀きんもくせしに うらなづみある

きたはら
北原
はくしゅう
白秋



詩や短歌だけでなく、童謡や民謡でも
幅広く文才を発揮した北原白秋

北原白秋は現在の福岡県柳川市で育ち、上京後に詩人や歌人として活躍。明治から大正、昭和にわたって優れた詩歌を残しました。現代の教科書にも多くの歌が掲載されており、『草わかば色鉛筆の赤き粉のちるがいとしく寝て削るなり』はその代表例です。また『この道』『まちぼうけ』などの童謡や、新民謡『ちやっさり節』の作詞を手がけたことでも有名です。

秋の夜、どこからか小雨をかいくぐって
鼻腔に届いた香り、そして…

『夜のくだち』は誰もが知る、あの香りについて詠んだ一首。「夜も更け、小雨が静かに降っている。ふと漂ってくる金木犀の匂いから、何となく物思いにふけてしまう私なのだ」。このとき白秋は40代。57歳で没したため晩年といえる年齢でした。彼の生家は裕福でしたが、文学を志してからは貧困や女性問題に苦しみ、破天荒で情熱的な性格もあって三度の結婚を経験しています。金木犀の香りが、何らかの出来事を思い出させるトリガーとなったのかもしれない。

金木犀を歌った短歌は他にも、斎藤茂吉の『裏山の径をのぼりて木犀の香を嗅ぐころぞ秋はれわたる』があ

鑑賞のヒント

「くだち(降ち)」は夜半過ぎのこと。「しづみて」は雨が止んだのではなく、静かに降り続けている様子。また「うら」は「うら寂しい」のような「何となく」のニュアンスや、「心の内」を意味します。「なづみある」は「なづむ(泥む)停滞する、思い悩む(+)ぬる」。

ります。同じ香りがモチーフでありながら、片や思索的、片や清々しさがあり、大きく印象が変わることに驚かされます。

視覚・嗅覚・味覚を楽しませる金木犀、
でも木材としての活用は稀

金木犀はモクセイ科モクセイ属の常緑小高木。秋に咲く花の香りが良いことから庭木として人気です。白ワインに金木犀の花を漬け込んだ、中国の伝統的な桂花陳酒クチナシチンジュは楊貴妃が好んだという言い伝えも。小径木なので木材としては流通しませんが、虎斑のような美しい模様の出る紋様孔材であるため、雑貨などに活用する取り組みもあるようです。

EIDAI Headline News

全国どこからでもショールームを体感できる
「EIDAIバーチャルショールーム」を更新

当社ではこのほど、Web上でショールームを体感できる「EIDAIバーチャルショールーム」を更新しました。梅田、新宿、横浜の3か所を公開しており、スマートフォンやPC、タブレットでご覧いただけます。
ウォークスルー機能や製品の詳細情報のほかにも、ショールーム内を案内されているような自動再生での見学など、便利な機能があります。
ご来館前後の確認やご来館いただけないお客様の補足ツールとして、ぜひご利用ください。

「EIDAIバーチャルショールーム」へは下記のURLよりアクセスしてください。
スマートフォンからは右の二次元コードよりアクセスしてください。

- 新宿: <https://www.eidai.com/showroom/virtual-shinjuku/>
- 梅田: <https://www.eidai.com/showroom/virtual-umeda/>
- 横浜: <https://www.eidai.com/showroom/virtual-yokohama/>

※ご不明点は各ショールームへお問い合わせください。お問い合わせは上記ショールームサイトよりご確認ください。
※「EIDAIバーチャルショールーム」の展示製品は2025年8月時点となります。現在の展示状況は各ショールームへお問い合わせください。

ショールームサイト
「EIDAIバーチャルショールーム」
をご体感ください



2階談話室 / ●室内ドア「セーフケアプラス LDデザイン」MN柄
●室内窓 MB柄

カフェ風にアレンジした談話室。施設らしくたくないという佐藤代表の意向が反映されたスペースです。



2階多目的室 / ●フローリング「スキズムSフロア」PP柄
●間仕切り「セーフケアプラス可動間仕切りFFデザイン」PP柄
●収納「リビングステージ」PP柄



2階 / ●フローリング「スキズムSフロア」PP柄
●室内ドア「デコルシェ PFデザイン」左からA06柄、A05柄、BLG柄、A07柄



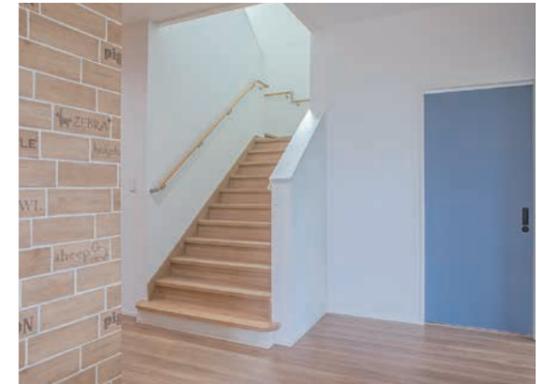
2階 / ●フローリング「スキズムSフロア」PP柄
●室内ドア「デコルシェ PFデザイン」左からA08柄、A06柄、A05柄



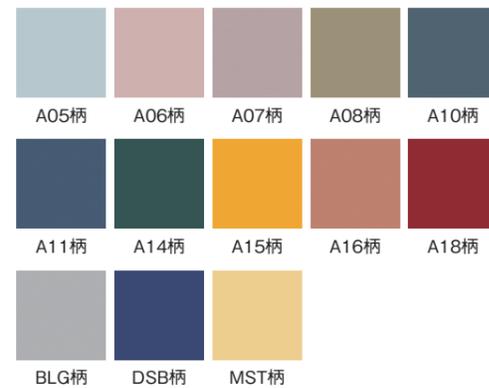
1階食堂 / ●フローリング「スキズムSフロア」LN柄
●カウンター「コンシェルジュカウンター」LN柄
●室内ドア「セーフケアプラス 8Wデザイン」LN柄、「デコルシェ PFデザイン」A15柄



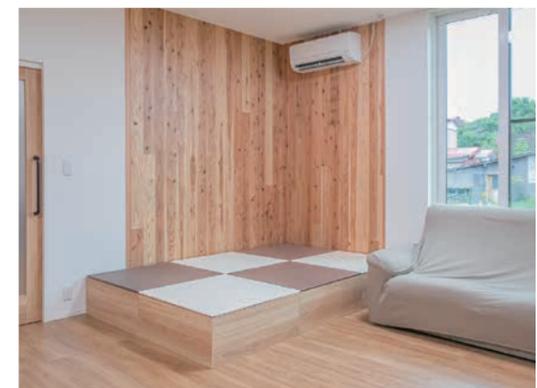
1階 / ●フローリング「スキズムSフロア」LN柄
●室内ドア「デコルシェ PFデザイン」左からA16柄、A11柄、A14柄、A18柄



1階エントランス / ●フローリング「スキズムSフロア」LN柄
●室内階段「スキズムS階段」LN柄
●手摺「マルポ21」LN色
●室内ドア「デコルシェ PFデザイン」A10柄



子どもたちが色で部屋を認知できるよう、室内ドア「デコルシェ」全28色柄のうち、13色柄が採用されています。



1階多目的室 / ●フローリング「スキズムSフロア」LN柄
●室内ドア「セーフケアプラス 8Wデザイン」LN柄
●収納「リビングステージ 小上がり収納」LN柄

最新
納入事例

フローリング、階段
室内ドア、収納

『デコルシェ』
『セーフケアプラス』
『スキズムSフロア』ほか

青森県むつ市で児童発達支援を展開されている「一般社団法人ぼこ・あ・ぼこ様」では、このほど、「セーフケアプラス」や「デコルシェ」の室内ドアなどを多数使った、新たな児童福祉施設「すたあずり」とる」を竣工されました。八戸住宅工房株式会社様と打ち合わせを重ねて完成したこの施設は子どもたちの成長を支えるだけでなく、親御さんにとっても「立ち寄ってみようかな」と思えるような、居心地の良い場所づくりを大切にされています。

今回の k i g o k o r o では、「一般社団法人ぼこ・あ・ぼこ」様の採用事例をご紹介します。

青森県むつ市
ぼこ・あ・ぼこ様
物件



一般社団法人 ぼこ・あ・ぼこ (左から)
宮本 優子様
代表理事 佐藤 はる様
奥島 紀子様



八戸住宅工房株式会社 (左から)
海老名 和香子様
代表取締役 成田 俊弥様

従来の施設にありがちな画一的な色使いではなく、みんなが元気になるような明るくてかわいらしい雰囲気のコーディネートを考えました。障がいのあるお子さんたちにとっては、部屋やトイレなどの案内をプレートで示すよりも色や写真で伝える方が、より自然に認識してもらえます。今回使用した「デコルシェ」はもともと住宅のアクセントとして使われているのですが、豊富な色柄が揃っているので、この施設のような用途にもぴったりだと感じて採用しました。完成した空間は、「施設だけ施設らしくない」というコンセプトにぴったりで堅苦しさがなく、みんなが元気を共有できる楽しい雰囲気の施設になったと思います。

この施設は児童福祉施設という枠にとどまらず、地域の子育て支援の拠点としても機能していきたいと考えています。保育士さんたちとの勉強会や子育てに困っている保護者の皆さんへの講演会などを通じて、子育てに関わる人たちが気軽に集まり、価値観を共有できる場を目指しています。子どもたちの成長を支えるだけでなく、地域全体で子育てを応援する、そんな温かくて開かれた施設づくりを進めています。

青森県初のCLTパネル工法で誕生した非住宅

約70立方メートルの杉材を使用し、内装の随所に木肌を見せることで、「木の温もり」に触れることができる空間を実現しました。館内は木の香りに包まれ、子どもたちが木と触れあいながら、のびのびとリラックスして過ごすことができます。

県民の皆さんの関心も高く、7月に開催した見学会には行政機関や保育士、保護者の方々など、2日間で延べ約120名が参加されました。

今後もCLTパネル工法による建築を進め、その魅力を広く伝えていきたいと考えています。



施工：八戸住宅工房株式会社様

日本の木になる風景

東京都 渋谷区

明治神宮 鎮守の森



原宿駅の目の前、東京のご真ん中に広大な森が広がる。100年前には何も無かった代々木の荒地。そこに明治神宮が創設された際、渋谷栄一をはじめとした多大な人々の思いと、全国から献木された約10万本の木々で造成された人工林だ。

朝朝、まだ人が少ない時間に散歩してみる。鳥のさえずり、風が抜ける音、そして自分の歩く足音。都会の真ん中とは思えないほど、静寂と木々の香りに満たされていた。ここには常緑広葉樹のシイやカシ、クスノキを中心に365種の樹種が植えられているそう。確かに自然の森とは違い、あたりを見渡すと色々な木々に出会えることができる。鎮守の森はとにかく広い。整備され、平坦ではあるが、歩けど歩けど森の中だ。日々の雑念を忘れ、ただ気が向くまま歩いていると日本庭園が現れた。昭憲皇太后のために整備された「明治神宮御苑」だ。中に入ると目の前に大きな池が広がり、これまでとはまた違った景観だった。ここには加藤清正が掘った「清正井」があり、湧水は一年中絶えることがないと記されていた。あとで知ったのだが、ここは有名なパワースポットらしい。絶えることなく水が湧き出ることから「悪い気が浄化され、運氣が上がるそう」だ。

「清正井」もそうだが、鎮守の森を散歩するだけで、とても癒された。都心の喧噪の中にあつて、深い自然を感じられるとても貴重な場所である。

営業マンの
オススメ
ランチ!!



「ル ビルズ カフェ」のケバブサンド

永大産業株式会社 東京西営業所 [住所] 東京都立川市栄町6-1 立飛ビル3号館 1F [TEL] 042-535-7474

活気のある営業でお客様のご要望にお応えします

永大産業株式会社 東京西営業所は7名のメンバーで多摩エリア、山梨エリアを中心に、東京23区内や埼玉の一部を担当している営業所です。ガッツのある若手と経験豊富なベテランの営業マンが、フットワークよくお客様に寄り添った営業を行っています。これからも質の高いサービスを提供すべく、所員一丸となって取り組んでまいります。



【後列左から】櫻田、高橋、小林、木村
【前列左から】針田(副所長)、川野(所長)、山崎



EIDAI HISTORY

第25回 建材(木質フローリング)

11

前回到引き続き、建材(木質フローリング)の歴史についてご紹介いたします。

2003年(平成15年)は、世界と日本に大きな影響を与える出来事が相次いだ年でした。アメリカを中心とする有志連合軍がイラクに侵攻し、イラク戦争が始まったほか、SARS(重症急性呼吸器症候群)の感染が世界的に拡大。日本でも新たな感染症として指定され、社会に不安が広がりました。国内では、日経平均株価がバブル崩壊後の最安値を更新し、大手金融機関への公的資金投入など、経済の混乱が深まった年でもありました。

高輝度のフローリング『ビーチヨーロッパクリスタル』を発売

この頃、建材業界では、散孔材の風合いを活かしたフローリングや高い光沢を持つ高輝度フローリングが流行しつつありました。『ビーチヨーロッパフロア』の発売で散孔材ブームの火付け役となった当社にも「傷に強く、光沢があり、高級感のある床にしたい」といった声が多く寄せられました。こうしたニーズに応えるべく、山口・平生事業所建材工場を中心に、新たな塗装技術「クリスタル塗装」の開発に着手しました。



『ビーチヨーロッパクリスタル』のカタログ表紙

ドルが立ちほだかっていたのです。当時はシックハウス症候群が社会問題化しており、化学物質の放散量を規制する改正建築基準法が施行されるタイミングでもありました。業界全体が「☆☆☆☆基準」の製品へ移行する中、当社も溶剤系から無溶剤の塗料へ移行。塗料メーカーと共同でクリスタル塗装用の新塗料の開発を進めましたが、開発は困難を極めました。厚塗りをするためのカーテンフロッコーターの工程では、わずかな気泡やゴミの付着で合格率が上がらず、毎日これらとの戦いでした。それでも塗装機やサンダーの

調整など、現場では昼夜を問わず試行錯誤が続きました。また、生産のために正月返上でライン改造を行い、最終の量産試作には当時の建材事業部長・大道氏(後の代表取締役社長)も深夜まで立ち会ったという逸話も残っています。

こうして完成したクリスタル塗装を施した『ビーチヨーロッパクリスタル』は、表面の滑らかさと高い光沢が空間に上質な雰囲気をもたらす、まさに「最高位」と呼ぶにふさわしいフローリングとなりました。その輝きは、グロスチエッカーによる測定で、従来品が30〜40だったのに対して50

〜60という高い光沢を実現しました。さらに、塗膜の硬さも大きく向上しました。鉛筆硬度試験では、従来品がB〜HB程度だったのに対し、2Hという硬度を誇り、掃除機などによる細かなひっつき傷が付きにくくなりました。加えて、ワックスがけの必要がない「ワックスフリー」仕様で、美しさを長く保てる点も大きな魅力でした。今では当たり前となったこの機能も、当時としては画期的なものでした。クリスタル塗装を施した「クリスタルシリーズ」では、優美な印象の「ヨーロッパアンビッチ」と、力強い木目が特徴の「ホワイトオーク」をツキ板に採用し、市場でも高い評価を受けました。

しかし時代の流れとともに、高輝度のフローリングから、着色を最小限に天然の素材の色を楽しむフローリングが主流になっていくのでした。一方で、森林の違法伐採による熱帯雨林の減少が世界的な問題となり、木材を扱う建材業界にも環境への配慮が求められるようになってきました。そこで当社は、持続可能な森林管理を支援する国際認証制度「PEFC認証」を取得。環境配慮型フローリング『エコメッセージフロア』を発売し、次なる時代のニーズに応える一歩を踏み出しました。(次号に続く)

永大産業株式会社 事業管理部 広報課 ©2025Eidai Co., Ltd.

編集後記

昨年に続き、今年の夏も記録的な猛暑となり、各地で観測史上最高気温を更新しました。外出を控えるほどの厳しい暑さでしたが、お盆を過ぎ、ようやく秋の気配が感じられるようになってきました。

先日、子どもと一緒にペットショップでスズムシを購入し、飼育を始めました。必要な飼育用品も揃え、準備は万端。数日後には一斉に鳴き始め、

涼やかな音色が部屋に広がりました。まだ暑さは残りますが、虫の声を耳を傾けると、秋の訪れを感じます。「秋の夜長」、静かな虫の音に癒されながら、季節の移ろいを楽しみたいと思います。

お断り：原則、文中での敬称は省略させていただいております。